

アイランドシティ低炭素型都市ビジョンの策定について

1 目的

- ・平成21年12月にとりまとめた新しい「アイランドシティ事業計画」において、市5工区を中心に“まちづくり完了時点において国内トップレベルの低炭素型都市を目指す”こととしており、そのために、CO2排出量などについて段階的に高い目標を設定することとしている。
- ・そこで、「国内トップレベルの低炭素型都市」の実現に向け、技術的な展望を踏まえて、環境性、経済性、快適性を兼ね備えた魅力ある低炭素型都市としての将来像を市民・企業等に提示する。
- ・また、その実現に向けて取り組むべき低炭素対策について段階的（中期（5年程度）・長期（20年程度））に目標（ロードマップ）を設定するとともに、先導的なモデル事業についても適宜盛り込むこととする。

2 検討内容

(1) 基本的な考え方

- ①背景 地球温暖化，エネルギー需給の逼迫
- ②目的 国内トップレベルの低炭素型都市の将来像を市民・企業等に示す
- ③理念 環境性・経済性・快適性を兼ね備えた魅力ある低炭素型都市の実現
～ 九州・日本・アジアにおける低炭素型まちづくりのショーケースを目指して ～
- ④対象期間 まちづくりエリア完了時点（平成30年代後半）まで
- ⑤対象地域 市5工区を中心としたまちづくりエリア

(2) 取り組みの方向性

①全体

(ア) 先進性

- 個別プロジェクトの完了時において最先端の技術等を導入
 - ・太陽光発電，燃料電池など
 - ・EVなど次世代自動車の積極的な導入

(イ) 独自性

- インフラも含めた新規開発
- 大規模かつ集中的なエリア開発

(ウ) モデル性

- 今後一般に普及すると見込まれる先端技術の導入
- 住民・事業者へのメリット（快適性・経済性）

- ・光熱水費の削減
- ・環境価値の経済的な還元（グリーン電力証書等・排出権取引）

②分野別

(7) 住宅・建築

(中期)

- ・最新の省エネ機器の導入や高断熱，また，太陽光発電，燃料電池の設置により，戸建て住宅を中心にゼロ・エネルギー・ハウスを達成
- ・雨水利用や生ゴミのコンポスト化など積極的な資源循環の実施

(長期)

- ・全ての住宅・建築物でゼロ・エネルギー・ハウス（ビルディング）を達成（戸建て住宅はLCCM（ライフ・サイクル・カーボン・マイナス）へ）

(イ) 地域

(中期)

- ・街区全体としてエネルギー使用量・CO₂排出量の「見える化」の実施

(長期)

- ・エネルギーマネジメントによる地域全体でのエネルギーの地産地消の実現

(ウ) 交通

(中期)

- ・EV，PHV等の次世代自動車の積極的な導入
- ・EVバスの運行
- ・カーシェアリングの実施

(長期)

- ・全世帯・事業所が次世代自動車を利用
- ・超小型モビリティを活用したまちづくり

(イ) 環境活動

- ・住民の環境活動を支援する仕組みづくり（エコ活動に関する手引書作成，HP設置）
- ・環境情報発信，環境学習，環境活動支援機能・人材育成・研究機能等の整備

(オ) その他

③先導的モデル事業

- ・「CO₂ゼロ街区」の形成

(3) 将来像 —低炭素型ライフスタイル—

①中期（5年）

②長期（20年）

(4) CO₂排出量に関する目標値